

1. 「酪農フィールド科学演習」アンケート評価

受講者人数：計 37 名

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

今年度は8大学から37名の参加があった。参加者は3年生が35%と最も多く、次いで2年生、1年生であった。本演習の目標の一つは、農学部の低学年次（1、2年生）を対象とした酪農教育にあるので、次年度以降はその旨についてHPやシラバス等に明記することが必要であると考えられた。

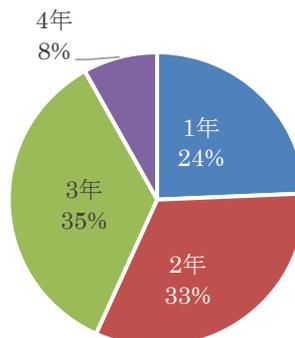
受講生は農学系の学生で構成されていたが、フィールド学習の経験があったのは約6割に過ぎず、その中で「畜産（特に酪農）」と関連のあるフィールド学習を経験していたのは1名（牧場実習）のみであった。この点から本演習は農学系の学生に対して、農学分野の「畜産（特に酪農）」について学ぶ貴重なフィールド学習の場になっているものと考えられた。

I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- ・広島大学 生物生産学部生物生産学科：11名
- ・山口大学：7名
 - 農学部生物資源環境科：6名
 - 農学部生物機能科：1名
- ・鳥取大学：6名
 - 農学部生物資源環境学科 国際乾燥地科学コース：2名
 - 農学部生物資源環境学科 生命・食機能科学コース：1名
 - 農学部生物資源環境学科：2名
 - 農学部獣医学科：1名
- ・岡山大学 農学部総合農業科学科：4名
- ・島根大学：3名
 - 生物資源科学部生態環境科学科：2名
 - 生物資源科学部農林生産学科 農業生産学教育コース：1名
- ・愛媛大学 農学部生物資源学科：4名
- ・高知大学 農学部農学科 海洋生物生産学コース：1名
- ・岩手大学 農学部共同獣医学科：1名

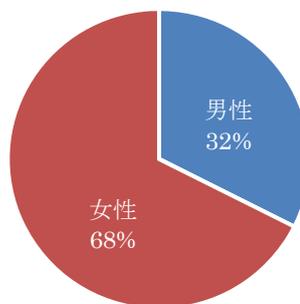
I-1-2) 学年

- ・1年次生：9名
- ・2年次生：12名
- ・3年次生：13名
- ・4年次生：3名



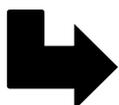
I-1-3) 性別

- ・男性：12名
- ・女性：25名



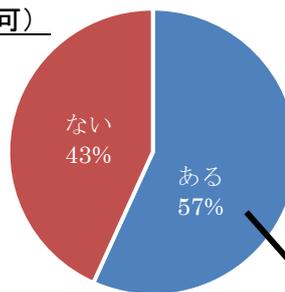
I-1-4) この演習以外にこれまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：21名　　ない：16名



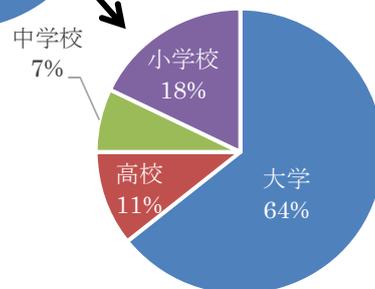
I-1-5) それほどの時期か（複数回答可）

- ・大学：18名
- ・高校：3名
- ・中学：2名
- ・小学校：5名



I-1-6) どのような内容の授業だったか

- ・農場実習（5名），牧場体験
- ・サイエンスキャンプでウシの人工授精について学んだ
- ・水曜実習（川の中でのフィールドワーク）
- ・海洋・海水調査，海の生態系
- ・地域の川の生態系を調べよう
- ・水生生物、土壌生物の生息状況を知る
- ・農業体験（2名），野菜の栽培（3名），稲の栽培
- ・果樹園芸フィールド、果樹の管理（3名）
- ・森林演習（人工林の測量、枝打ち、森林踏査など）（6名）
- ・自然学校
- ・離島の生態系、森林環境を知ろう
- ・バードウォッチング
- ・昆虫採集、標本づくり

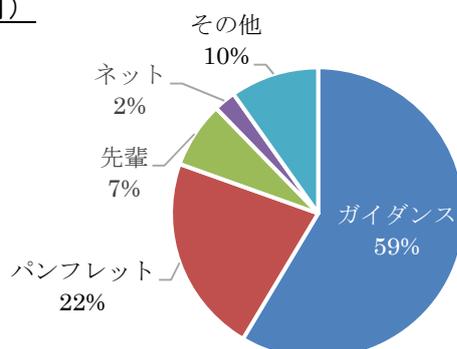


I-2 【授業に参加するにあたっての情報入手について】

本演習を知るきっかけは、これまでと同様に「ガイダンス」と「パンフレット」が8割を占めていた。また、「先輩から」や「ネットで」については昨年度より増えていた。

授業のことを、何を通して知ったか（複数回答可）

- ・ガイダンスで：24名
- ・パンフレットで：9名
- ・先輩から：3名
- ・ネットで：1名
- ・その他：4名

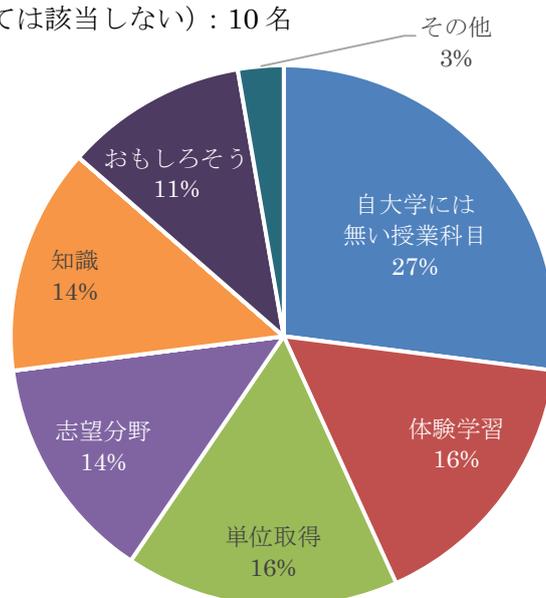


I-3 【授業に参加した理由について】

昨年度の受講生が「体験学習」を参加理由に挙げる傾向にあったのに対して、本年度は「自大学にない科目」を挙げた回答が一番多く見られた。また、「現在の志望分野に係るから」、「単位が取得できるから」を挙げた回答割合が例年と同程度であったのに対して、「広い知識を得たいから」と答えた回答が増加する傾向が認められたことから、フィールド教育に幅広い知識の習得を期待する学生の多いことが示唆された。

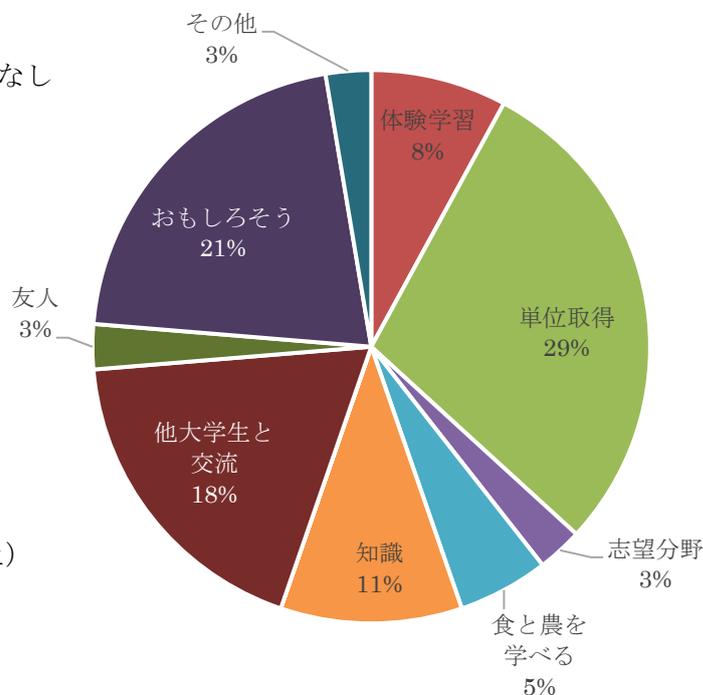
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから（広大生については該当しない）：10名
- ・体験学習だから：6名
- ・単位が取得できるから：6名
- ・現在の志望分野に係るから：5名
- ・食と農について学べるから：該当者なし
- ・広い知識を得たいから：5名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- ・友人が参加するから：該当者なし
- ・おもしろそうだから：4名
- ・その他（記述）：1名（飼料について学ぶため）



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- ・自分の大学には無い授業科目だから：該当者なし
- ・体験学習だから：3名
- ・単位が取得できるから：11名
- ・現在の志望分野に係るから：1名
- ・食と農について学べるから：2名
- ・広い知識を得たいから：4名
- ・他大学のことを知りたいから：該当者なし
- ・他大学の学生と交流できるから：7名
- ・友人が参加するから：1名
- ・おもしろそうだから：8名
- ・その他（記述）：1名（バター作りにひかれた）

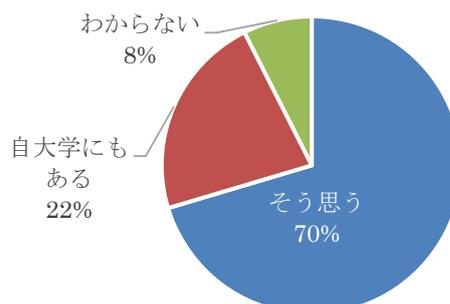


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

他大学からの受講生は37名中26名であったが、その7割は自大学にはない授業科目として本演習を捉えていた。また、他大生の受講生全員が本学の教員による授業に対して「良かった」と評価していたことから、「自大学にも類する科目がある」と回答した受講生も本演習を肯定的に捉え、受講したことに満足していることが伺えた。

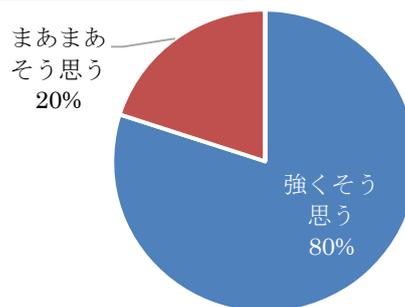
**I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容
だったか(広大学生以外)**

- ・ そう思う : 19 名
- ・ 自分の大学にも類する科目がある : 6 名
- ・ わからない : 2 名



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できてよかったか(広大学生以外)

- ・ 強くそう思う : 20 名
- ・ まあまあそう思う : 5 名
- ・ あまりそう思わない : 該当者なし
- ・ 全くそう思わない : 該当者なし



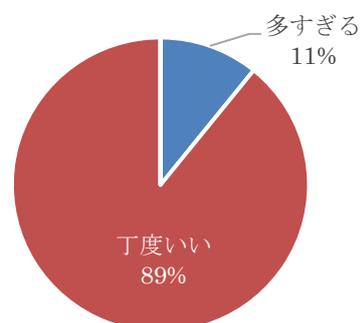
I-5 【他大学の学生との交流等について】

今年度は受講希望者が多く、定員以上の受講生を受け入れたが、9割の受講生は演習の定員数が「丁度いい」と回答しており、37名という多さでも、授業、実習において学びやすい環境を提供できたものと思われる。前述した受講の第一志望動機には、他大生との交流をあげたものは少なかったが、受講後のアンケート結果から半数以上の学生が他大生と授業を受けたことに対して「非常に良かった」と回答しており、また、交流の機会を増やすことに対しても肯定的であったことから、本演習が学生間の交流の場としても機能していたものと考えられた。

以上のことから、本演習が受講生にとって他大生との交流に対する意識の変化を促進する効果のあることが示唆された。

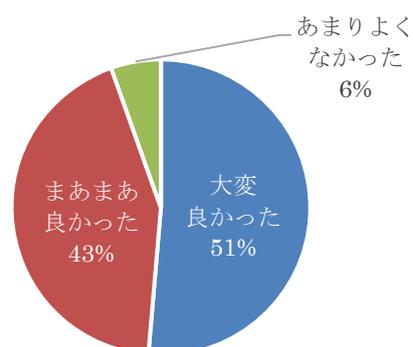
I-5-1) 今回の授業の受講者数は(今回は37名)、

- ・ 多すぎる : 4 名
- ・ 丁度良い : 33 名
- ・ 少なすぎる : 該当者なし



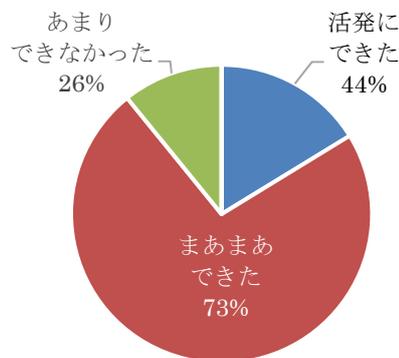
I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- ・ 大変良かった : 19 名
- ・ まあまあ良かった : 16 名
- ・ あまり良くなかった : 2 名
- ・ 悪かった : 該当者なし



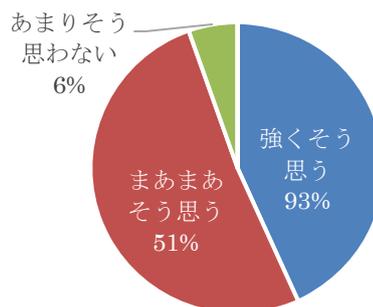
I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたか

- ・活発にできた：6名
- ・まあまあできた：27名
- ・あまりできなかった：4名
- ・全くできなかった：該当者なし



I-5-4) 今後も他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- ・強くそう思う：16名
- ・まあまあそう思う：19名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし

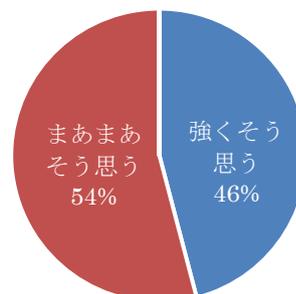


I-6 【この授業の構成について（3泊4日の集中形式で、講義・実習・発表の3部構成）】

本演習は、「座学（講義）」における知識の習得と「実習」におけるフィールド体験を通じた知識の定着を図る授業（講義＋実習＋発表）を目標としている。実習後の回答からは全受講生がこの授業形式に対して「授業理解に有効である」と評価していた。また、昨年度までのアンケートでは、3つの部分（講義・実習・発表）の中で最も面白かった内容として演習最終日の「発表」を挙げた受講生は認められなかったが、今年度は面白かったとする受講生が複数名見られたので、来年度以降も引き続き発表内容やその方法を改善することで、発表による教育効果の充実を図りたいと考えている。

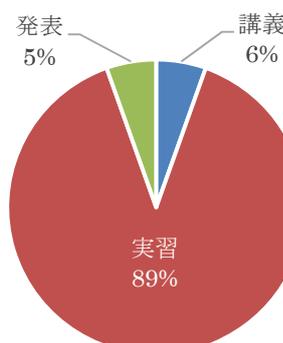
I-6-1) こうした組み合わせは、授業を理解するうえで有効である

- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



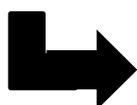
I-6-2) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- ・講義：2名
- ・実習：33名
- ・発表：2名



I-6-3) 4日間の日数について

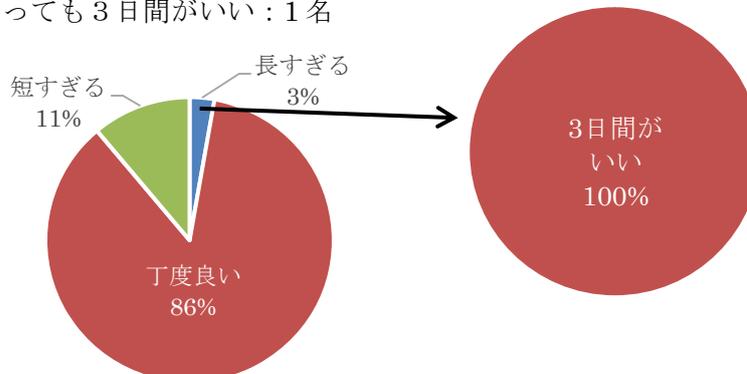
- ・長すぎる：1名



I-6-4) 日数が長すぎる場合、何日間ならいいか

- ・1単位になっても2日間がいい：該当者なし
- ・1単位になっても3日間がいい：1名

- ・丁度良い：31名
- ・短すぎる：4名

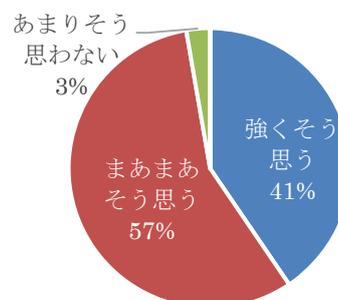


I-7 【参加費に関して】

アンケート結果からは4割の受講生が食事に対して「満足できなかった」と回答していたが、今年度は食事を委託していた業者側の対応に少々問題があったので（事前の打ち合わせと異なる食事内容の構成や食事配達時間の遅れなど）、このことも影響していると考えられた。昨年度は委託業者を変更することで、一昨年度に見られた食事に対する不満を大幅に改善できていたが、食事内容等の一部に問題があったために、今年度はまた委託業者を変更した。食事の委託業者の選定については、参加費を抑えるために値段の交渉などもあり、かなり難しいが、来年度は、食費の価格の見直しも含めて委託業者の選定や事前打ち合わせを行いたい。宿泊施設や参加費用については全受講生が妥当であると回答していた。

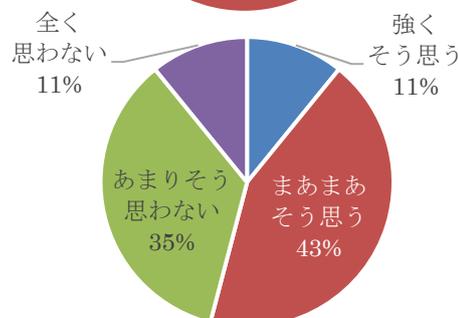
I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：21名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全くそう思わない：該当者なし



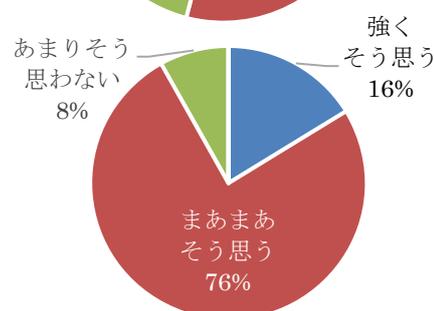
I-7-2) 参加費から考えて、食事に満足できた

- ・強くそう思う：4名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：13名
- ・全く思わない：4名



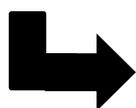
I-7-3) 参加費から考えて、宿泊施設に満足できた

- ・強くそう思う：6名
- ・まあまあそう思う：28名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



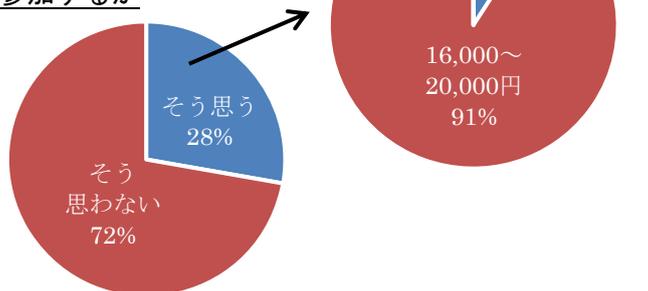
I-7-4) 参加費をもっと高くしても食事と宿泊施設をよくしてほしい

- ・ そう思う : 10 名



I-7-5) 参加費がどの程度までなら参加するか

- ・ 10,000～15,000 円 : 1 名
- ・ 16,000～20,000 円 : 10 名
- ・ 21,000～25,000 円 : 該当者なし
- ・ 26,000～30,000 円 : 該当者なし
- ・ そう思わない : 26 名



I-8 【食農フィールド科学演習全体についての感想】

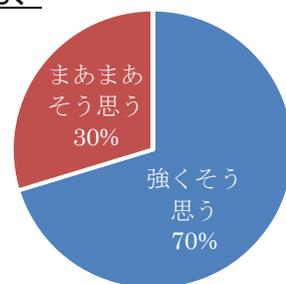
すべての受講生が本演習を通してフィールド科学および畜産分野（特に酪農）に対する興味や関心が高まったと回答しており、「食」と「農業」との関わりを含めた農学分野に対して理解を深めるとともに視野の広がりを感じていた。

農学系の学生にとって、「食料生産の意義」を認識することは今後の進路の選択にとって非常に大切である。受講生の約 9 割が本演習をきっかけにその認識を深めていたことから、本演習は学部生の農学に対する意識形成にも大きな効果のあることが示唆された。

多くの受講生は他大生との交流や班活動を通してコミュニケーション力やチームワークの高まりを実感していた一方で、リーダーシップ能力の向上については実感していなかった。その一因として、各班に授業や発表をサポートする TA（2 名がドクターの大学院生）が着いていたので、リーダーシップを発揮する場面が少なかったことも考えられる。来年度は、リーダーシップ能力の向上も考えて TA の関わり方について検討したいと考えている。

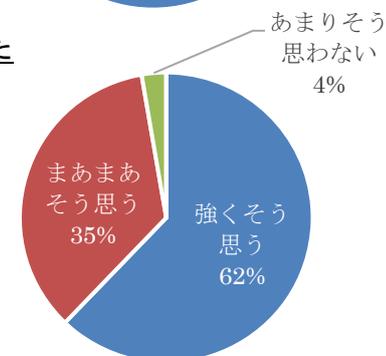
I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、 物事を考える上で有意義である

- ・ 強くそう思う : 26 名
- ・ まあまあそう思う : 11 名
- ・ あまりそう思わない : 該当者なし
- ・ 全く思わない : 該当者なし



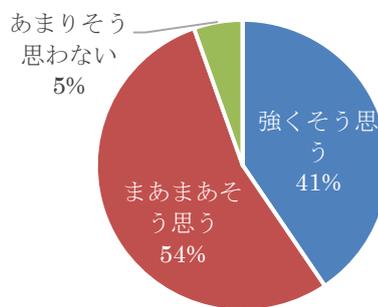
I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- ・ 強くそう思う : 23 名
- ・ まあまあそう思う : 13 名
- ・ あまりそう思わない : 1 名
- ・ 全く思わない : 該当者なし



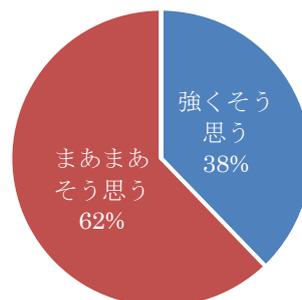
I-8-3) この演習を受講してこの分野についてもっと知りたくなった

- ・ 強くそう思う : 15 名
- ・ まあまあそう思う : 20 名
- ・ あまりそう思わない : 2 名
- ・ 全く思わない : 該当者なし



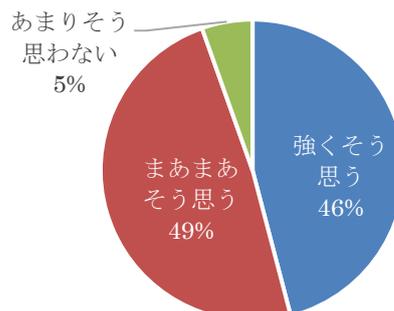
I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野を広く持てるようになった

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



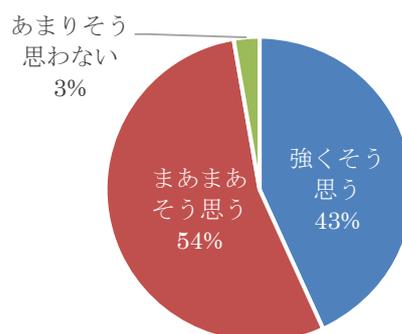
I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：18名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



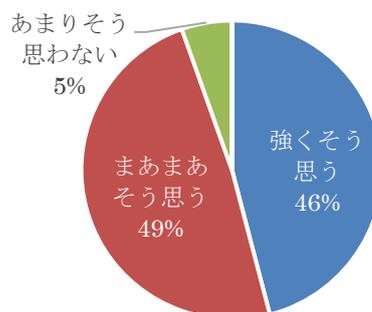
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- ・強くそう思う：16名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：1名
- ・全く思わない：該当者なし



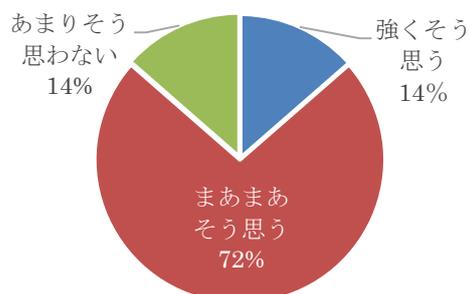
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- ・強くそう思う：17名
- ・まあまあそう思う：18名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



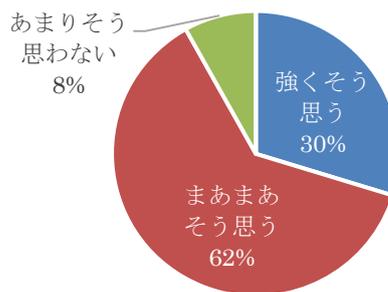
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：27名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：該当者なし



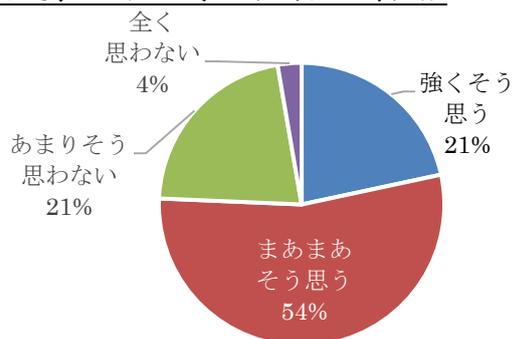
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- ・強くそう思う：11名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



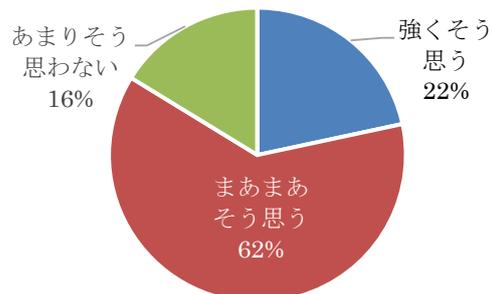
I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：20名
- ・あまりそう思わない：8名
- ・全く思わない：1名



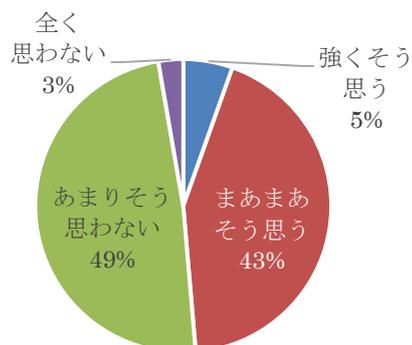
I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：6名
- ・全く思わない：該当者なし



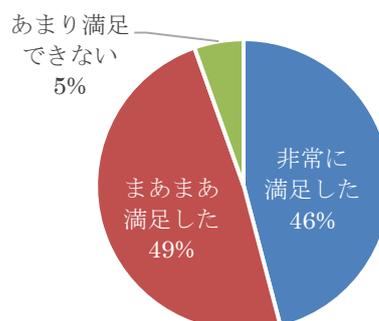
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- ・強くそう思う：2名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：18名
- ・全く思わない：1名



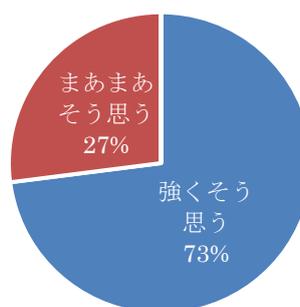
I-8-13) 参加する前の期待度に対して満足度はどうか

- ・非常に満足した：17名
- ・まあまあ満足した：18名
- ・あまり満足できない：2名
- ・全く満足できない：該当者なし



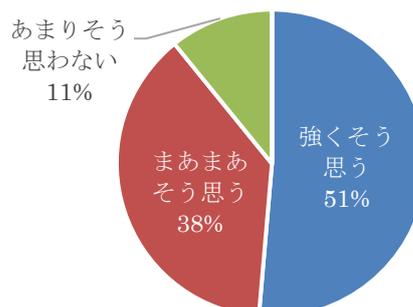
I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- ・強くそう思う：27名
- ・まあまあそう思う：10名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思った

- ・強くそう思う：19名
- ・まあまあそう思う：14名
- ・あまりそう思わない：4名
- ・全く思わない：該当者なし



I-9 【その他】

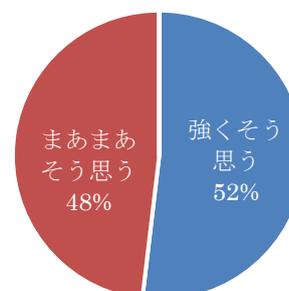
本演習に対する受講生の意見は概ね肯定的な内容ばかりであった。

すべての受講生が講義内容を理解できたと回答しており、演習に組み込まれていた4つの授業（遺伝的特性・飼料作物の生産・人工授精・生乳の加工）についても「面白かった授業」と評価していたことから、農学系の学生にとって理解し易く興味を持てる授業内容を提供できていたものと考えられる。

少数ではあるが時間内に予定を詰め込み過ぎて疲れるとの意見も見られた。同様の意見はH23年度（実施初年度）の実施後にも多く見られたので、H24年度にはスケジュールを大幅に見直し、さらに本年度は時間にゆとりを持たせたスケジュールに変更していた。演習が1週間から10日間という長期であれば、かなり余裕をもったスケジュールを立てることができるが、提供する教員側にとっても、受講する学生側にとっても、長期の演習は現実的ではないと考えられるので、今後とも4日間体制の中で授業内容を工夫しながら、充実したフィールド教育を目指したい。

I-9-1) 酪農フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やしてほしい（広大学生以外）

- ・強くそう思う：14名
- ・まあまあそう思う：13名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



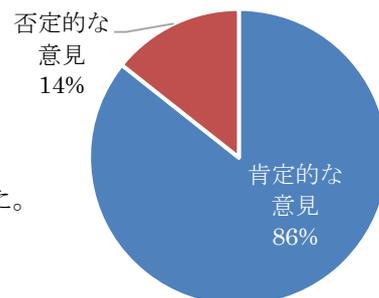
I-9-2) フィールド演習一般についての受講者の意見

大多数の回答がフィールド演習一般についてではなく、今回の演習に対する意見や感想であったため、今回の演習に対する意見を中心に肯定的意見・否定的意見として分類した。

<回答者数：30名，未回答：7名>

《肯定的な意見・感想》

- ・座学だけでは体験できないことを体験できるので、意欲が高くなると思う。
- ・牛やヤギと触れ合えてとても楽しい演習だと思う。
- ・自分の大学では、体験することができないものを体験することができるのは良いと思った。
- ・実習が多いのが良かったです。
- ・実際に体験できるのは良いと思った。
- ・実際に体験できるということは、知識の理解が早いため良い演習であると思う。
- ・フィールド演習はその内容うんぬんもちろん重要だけれども、同年代の大学生達と一緒に勉強することのメリットが非常に大きいと思う。
- ・実際に見たり、触ったりすることはとても大切だと思った。
- ・農業に興味を持てる元となり、講義を受けて良かった。
- ・講義では学べないことを体験によって学べて面白い。
- ・一人一人が積極的でよかった。一度経験している分より深められた。
- ・大きな農場で、多くのことを経験できてよかったと思います。
- ・座学だけでは知ることのできない内容を学べる。
- ・初参加だったが、満足できた。大学の実習だけではものたりないと感じていたので、このような機会ありがたい。
- ・普段知らない大学のことや、先生たちと話せて、広い視野で物事を考えるきっかけを作れるようになったと感じた。
- ・いつもの先生や友人などと違い、新しい場所で新しいことを他大学の人と学べてとても良いと思う。
- ・より広い視野を持つため多くの人と触れ合い、様々な事を学ぶのは非常に重要だと思った。
- ・普段はすることのできない貴重な体験をさせていただきよかった。
- ・他大学の学生と触れ合う機会は滅多にないからとてもいいと思う。
- ・他大学の専攻の異なる学生の交流が良いところ。他大学を知ること自大学で活かせることも見えると思う。
- ・普段できない体験ができて、とても良かった。もっと受けてみたいと思う。
- ・フィールドを使つての実習は、実際に体験することができ、わかりやすいものであった。
- ・とても貴重な体験ができてよかった。
- ・体験することと話を聞くのでは大きく違うので、フィールド演習は大切だと思う。
- ・とても楽しかったです。
- ・他の学校の人と交流できて楽しかった。
- ・バター作りが楽しかったです。ヨーグルトやアイスも作ってみたかったです。
- ・牛と関わる機会はなかなかないので楽しかった。
- ・想像していたより、この4日間がとても充実しました。
- ・値段はとても安く満足している。



《否定的な意見・感想》

- ・広大生にとってはすでに経験したことのあるものが多かった。
- ・3泊4日で充実していて、多くのことを学べたと思うけど、慣れない事をして思っていたより疲

れました。

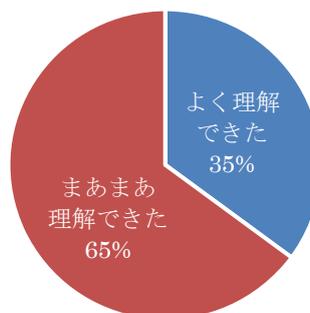
- ・時間が詰め込みすぎだと思った。そのため疲労がたまり、授業でつい寝てしまうことがあった。もう少し間が欲しいと思った。
- ・他大学のフィールド演習を他にも受講したいですが、山口大学は一つしか受講することができないので残念です。
- ・人数が多少減っても、もっと参加できる人を選抜するのを厳しくするべきだとも思った。

II 授業に関する質問

II-1 【今回の講義に関する質問】

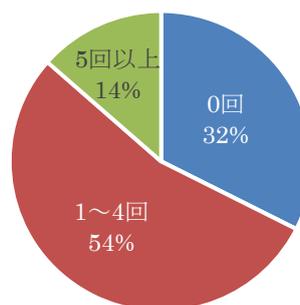
II-1-1) 講義内容について

- ・よく理解できた：13名
- ・まあまあ理解できた：24名
- ・あまり理解できなかった：該当者なし
- ・全く理解できなかった：該当者なし



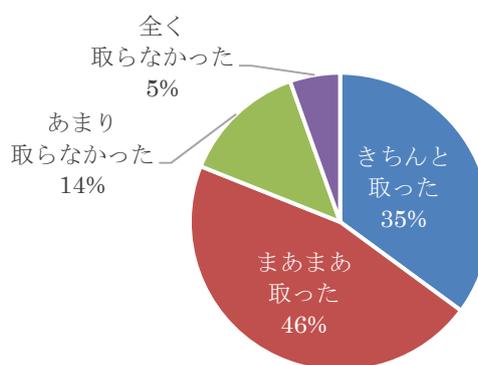
II-1-2) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり意見を述べたりしたか

- ・0回：12回
- ・1～4回：20回
- ・5回以上：5回



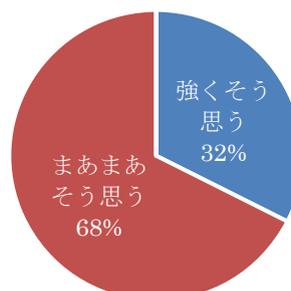
II-1-3) 講義のノートやメモを取ったか

- ・きちんと取った：13名
- ・まあまあ取った：17名
- ・あまり取らなかった：5名
- ・全く取らなかった：2名



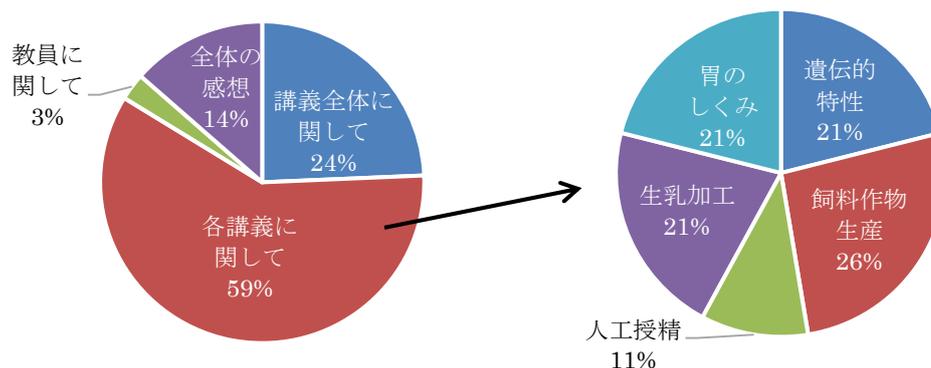
II-1-4) 講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものだったか

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：25名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が面白かったか

<回答者数：35名，無回答者数：2名>



●以下に面白かった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《講義全体に関して》

- ・説明（知識）を受けた直後に実習できる点。
- ・実習でやったこと。座学だけでなく、実際に外に出たりしたところ。
- ・実際にやった作業に関する内容。
- ・前の講義（農場実習のことと思われる）で分からなかったことを理解し深めることができた。
- ・実物を見ながら講義を聞いたところ。
- ・基本的なところから教えていただけたので、頭に入っていったので勉強した気持ちになった。

《各講義に関して》

- ・乳牛と肉牛について。
- ・牛の種類の話。
- ・牛の品種の授業では、色々な写真が見れて良かった。
- ・牛の形の違いがあんなにはっきりしていることは気がつかなかった。
- ・牛の食べている飼料の現状について。
- ・飼料の配合について学べたこと。
- ・飼料に含まれるサイレージなど様々な種類の牧草が混ぜられていることを再確認できてよかった。
- ・TMRについて、堆肥により物質循環しているところ。
- ・物質循環の話が面白かった。
- ・人工授精の実際。
- ・人工授精の技術がすごかった。
- ・バターづくり。
- ・牛乳の飲み比べ。
- ・牛乳の作り方のところで知らないところを多く知れた点。
- ・牛のミルクを生産するのにかなり費用がかかるというところ。
- ・牛の胃の内容物に生息する微生物の観察。
- ・顕微鏡で微生物を見たこと。
- ・牛の胃について知らなかったので勉強になった。
- ・具体的な数値などを細かく知れたこと。

《教員に関して》

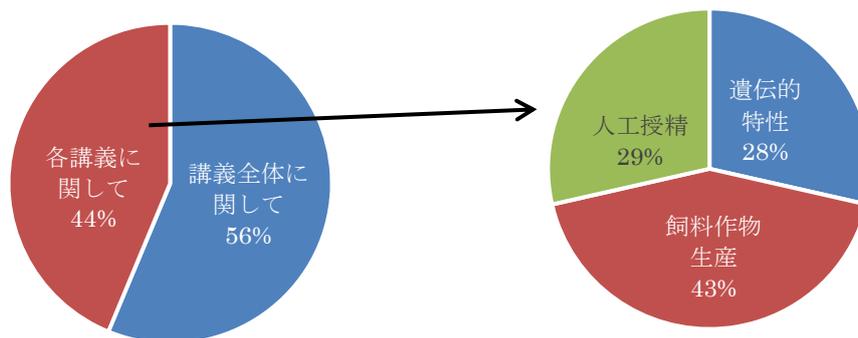
- ・先生の話では本音を伝えようとしてくれている気がして、とても興味がわいた。

《全体の感想》

- ・自分の大学では聞けない話が聞けてよかった。
- ・やってみたくと思っていたことがたくさん体験できたこと。
- ・自分の全く専門外の内容だったからこそ、多くのものを吸収していくことができたところです。
- ・他大学の反応。
- ・自分の学んでこなかった分野なので新鮮でした。
- ・知らないことを多く知ることができた。

Ⅱ-1-6) 講義のどの部分が理解しにくかったか

<回答者数：16名，無回答者数：21名>



●以下に理解しにくかった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《講義全体に関して》

- ・専門知識。
- ・専攻が畜産ではなく土壌なので、たまに専門用語につまずいた。
- ・専門用語が出てくると少し難しかった。
- ・専門用語などが少し分からなかったです。(3名)
- ・広大で受けた講義と同じものだったので、違う内容も多く含まれていれば良かったと思った。
- ・話ばかりだと少しわかりづらかった。

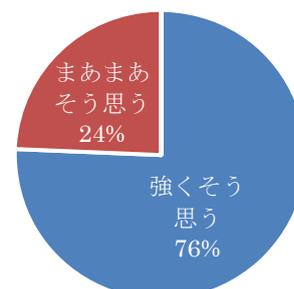
《各講義に関して》

- ・QTLのあたりは少し難しかった。(2名)
- ・乳牛の妊娠のサイクルについて。
- ・乳量サイクル。
- ・エサについては少し難しかった。
- ・人工授精のところの内容が難しかった。(2名)

Ⅱ-2 【今回の実習について】

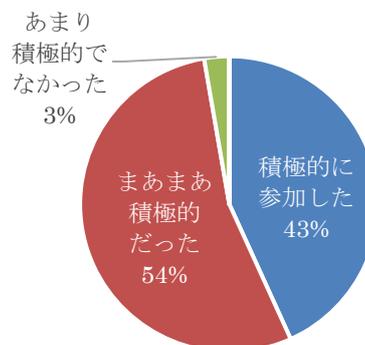
Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

- ・強くそう思う：28名
- ・まあまあそう思う：9名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



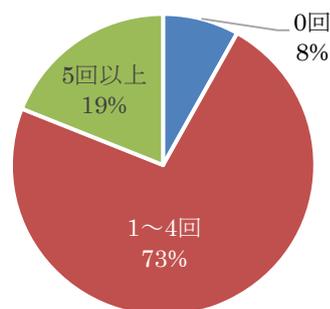
Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

- ・積極的に参加した：16名
- ・まあまあ積極的だった：20名
- ・あまり積極的でなかった：1名
- ・全く積極的でなかった：該当者なし



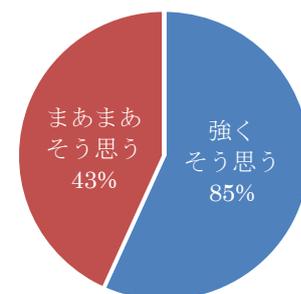
Ⅱ-2-3) 実習の際、先生や実習補助者に何回質問したり意見を述べたりしたか

- ・0回：3名
- ・1～4回：27名
- ・5回以上：7名



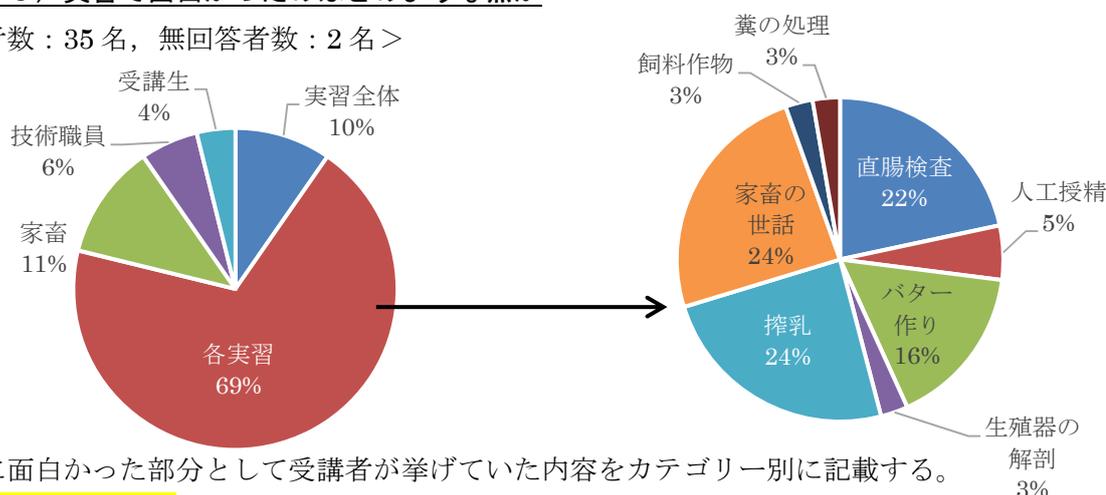
Ⅱ-2-4) 実習があることによって、講義内容を理解できるようになったか

- ・強くそう思う：21名
- ・まあまあそう思う：16名
- ・あまりそう思わない：該当者なし
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-2-5) 実習で面白かったのはどのような点か

<回答者数：35名，無回答者数：2名>



●以下に面白かった部分として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《実習全体に関して》

- ・全体的におもしろかった。(2名)
- ・普段知らない酪農家の裏側を知れた点。
- ・普段できないことができた。
- ・見るだけではなく、匂ったり触ったり食べたりできたところ。

《各実習に関して》

- ・直腸検査。(5名)

- ・直腸検査など普段できないことが体験できた。
- ・直腸検査が非日常的な体験でとても印象に残っておもしろかったです。
- ・人工授精。
- ・人工授精や直腸検査を見たり体験したりできたこと。
- ・バター作り。(4名)
- ・ミルクからバターが作れたこと。
- ・バター作りはやったことがなく、とても楽しかった。
- ・雌生殖器の解剖。
- ・搾乳。(6名)
- ・搾乳体験が初めてでき、楽しかった。(2名)
- ・牛の搾乳について、機械と人の違いがわかった。
- ・家畜の世話。
- ・牛のブラッシング。(4名)
- ・動物に触れる作業(ブラッシング等)。
- ・自動搾乳機を見れたことと、実際に牛をブラッシングできたのが良かった。
- ・ヤギを抱っこできた点。
- ・ヤギの体重測定。
- ・TMRづくり。
- ・糞の処理。

《家畜に関して》

- ・牛とのふれあいができてよかった。(3名)
- ・家畜との触れ合い。(4名)
- ・普段見ない家畜とふれあえたこと。
- ・実際に家畜にふれることができる点。
- ・実際に動物たちにふれたり、五感で感じるができることがおもしろかった。
- ・自分よりも大きな動物は初めてだったので、怖がっている自分や、どんどん牛との距離が縮んでいくのを実感した点です。

《技術職員に関して》

- ・技術職員の人との会話。
- ・現場の人の話。
- ・作業のあと、技術職員さんのお話が聞けたこと。

《受講生に関して》

- ・他大学の反応。
- ・班の人と仲良くなれて、楽しんで実習を受けることができました。

Ⅱ-2-6) 実習で改善してもらいたいのはどのような点か

<回答者数：19名，無回答者数：17名>

●以下に改善してもらいたい点として受講者が挙げていた内容をカテゴリ一別に記載する。

《実習全体に関して》

- ・やる人を指示してほしかった。そのほうが体験している

広大生が気を使わなくてよいので。

- ・もう少したくさん実習がやりたいです。

《タイムスケジュールに関して》

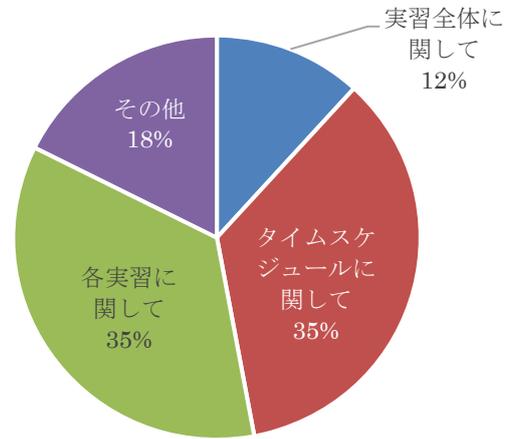
- ・時間が少ない。
- ・もっと色々な作業を試みたかった。
- ・休憩がもう少しあってもよかったかなと思いました。
- ・時間スケジュールがきつい。
- ・水分補給をもう少しこまめに取れるようにしたい。
- ・時間配分がたまにうまくできてなかった。予定でするはずの実習ができなかったのが残念だった。

《各実習に関して》

- ・技術職員の方々との意思疎通。
- ・積極性が足りなかったかもしれないけれど、作業中に職員さんが遠くで説明して聞けなかったときがあったのが少し残念でした。
- ・説明がたまに機械音で聞こえなかった。
- ・専門用語とかを少しくだいて説明していただけるとより理解が深まると思います。
- ・みなが全員できるわけじゃなかったところ（直腸検査等）。
- ・発表の準備期間が短い。

《その他》

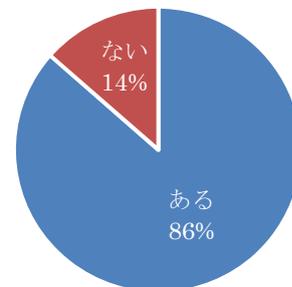
- ・TAさんの評価スタイルを隠してほしい。
- ・グループの男女比は考えた方が良くと思う。
- ・つながりが暑い。
- ・強力なマスクが欲しい。
- ・掃除が1年に1回は少ない。



Ⅱ-3 【今回の発表会について】

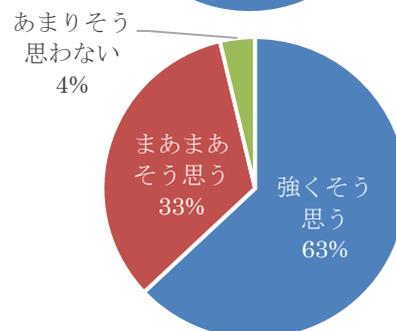
Ⅱ-3-1) これまでに発表経験があるか

- ・ある：32名
- ・ない：5名



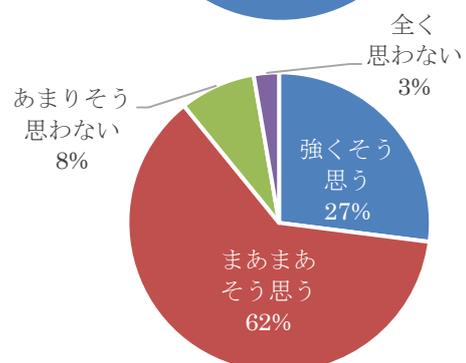
Ⅱ-3-2) 発表は大変苦労したか

- ・強くそう思う：15名
- ・まあまあそう思う：19名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：該当者なし



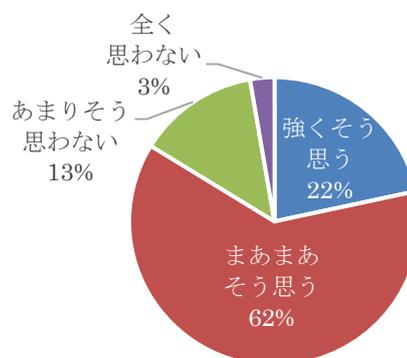
Ⅱ-3-3) 発表のチームワークはうまくできたか

- ・強くそう思う：10名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：3名
- ・全く思わない：1名



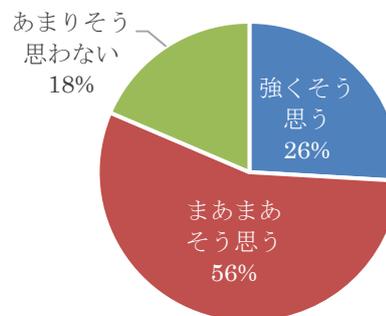
Ⅱ-3-4) 発表内容に満足しているか

- ・強くそう思う：8名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：5名
- ・全く思わない：1名



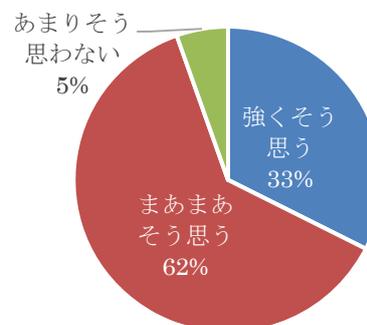
Ⅱ-3-5) 発表のための基礎的な手法が身についたか

- ・強くそう思う：5名
- ・まあまあそう思う：26名
- ・あまりそう思わない：6名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-3-6) 発表をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義であったか

- ・強くそう思う：12名
- ・まあまあそう思う：23名
- ・あまりそう思わない：2名
- ・全く思わない：該当者なし



Ⅱ-3-7) 発表会について良かったのはどのような点か

<回答者数：34名，無回答者数：3名>

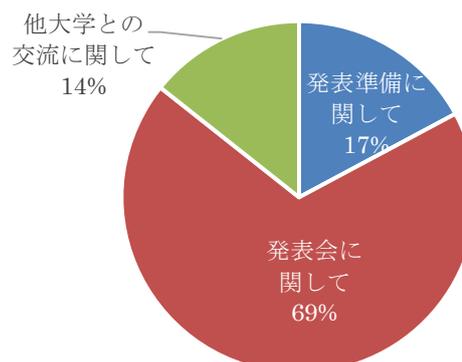
●以下に良かった点として受講者が挙げていた内容をカテゴリー別に記載する。

《発表準備に関して》

- ・KJ法などを有効に使いえば話し合いがスムーズにいくのが分かったし、他大学の人などがそれぞれ自分の専門知識を持ち寄った話し合いもできて、良かったです。
- ・みんな協力できた。
- ・班のみんなで協力してプレゼンを作ることができた。グループの仲も深まったと思う。
- ・自分たちで発表を考えたことで、とても自分の頭に入りやすかったです。
- ・短い準備期間の中で、最低限の発表ができたこと。
- ・ある程度主体的に取り組めたこと。

《発表会に関して》

- ・他の人の考えを聞くことができた点。(8名)
- ・様々な意見が聞けた点。(4名)
- ・他の班の発表を聞くことにより視野が広まった。
- ・より深まった気がする。
- ・自分とは違う意見を知れて良い。
- ・みんなの感想が聞けたこと。



- ・他の人の発表で気づけたことがあり、今回の演習で学んだことを思い出させてもらいました。
- ・他の班のスライドからいろいろ自分の知らなかったところを知れた点。
- ・自分が気がつかない視点を他の班が発表することで気がつけること。
- ・自分だけでは思いつかないような方針、意見が聞けて今後の参考になった。
- ・他の班のスライドを見て、自分たちがもっとどうよくできたかを確認できた。
- ・いろんな人たちのスライドを見て考えや発表の仕方などを学べた。
- ・1つ1つのグループごとで個性があって良かった。
- ・教室がよかった。

《他大学との交流に関して》

- ・班単位で行動してチームワーク力が深まった。
- ・班内の仲が深まったこと。
- ・班の人とたくさん話すことができた。
- ・グループで話し合っただけで仲も良くなったし、信頼感も生まれたと思う点。
- ・だんだん意見がまとまっていく流れが楽しかった。

Ⅱ-3-8) 発表会で改善した方が良いと思われるのはどのような点か

<回答者数：20名，無回答者数：17名>

●以下に改善してもらいたい点として受講者が挙げていた内容をカテゴリ別に記載する。

《発表準備に関して》

- ・発表準備の時間がもっと欲しかった。(6名)
- ・時間が短かった。作るのが大変だった。
- ・使える時間が短い。
- ・初日から内容を決めていくのは厳しかったです。
- ・下準備をしっかりしてもう少し手短めに終わるよう心がけるべきだった(自分の班の発表で)。
- ・いきなりだったので、事前学習などで発表があることを伝えるといいと思った。
- ・夜遅くまで時間がかかってしまった。

《発表会に関して》

- ・発表時間。
- ・発表時間をもう少し長くしてほしい。
- ・発表順をできれば、自分たちで決めたい。
- ・多くのプレゼンが実習や授業で習ったことと同じことを説明しているだけのように感じ、少し退屈してしまった。質疑応答も先生やTAさんなど行った方が広がったかも。

《発表テーマに関して》

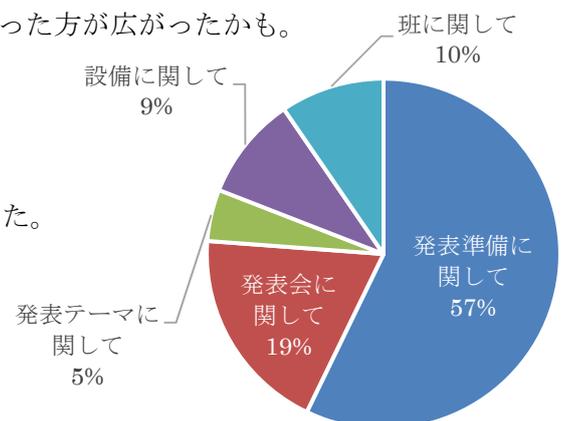
- ・テーマが少し難しかったかなと思います。

《設備に関して》

- ・0時より遅い時間でもパソコンが使用できればよかった。
- ・ネット環境が欲しかった。

《班に関して》

- ・チーム編成、広大生の配分。



Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習について】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

<回答者数：25名，無回答者数：12名>

●以下に感想として受講者が挙げていた内容をカテゴリ別に記載する。

《良かった点》

- ・いろいろな人の話が聞けて、自分の知らなかったことを体験できるのでよかったです。
- ・泊まり込みスケジュールぎっしりで大変だったけど、その分濃密な時間を過ごせることができて楽しかった。
- ・普段できない体験や新しい人間関係の中で少し成長できたと思う。
- ・いろんな大学の人と話す機会があり、とても楽しかった。また受講してみたいと思う。
- ・楽しめたのでよかったです。他大学との交流ができてよかったです。
- ・他大学の人とたくさん交流することができて良かった。
- ・様々な人と関わることができて楽しかった。本格的な学習ができるので良い体験になる。
- ・いろんな大学のいろんな人からいろんな話を聞けるので良い。
- ・多くの分野の人と話すことで発見ができ、コミュニケーションも多くとれて楽しかった。
- ・牛やヤギたちに触れ合えてよかったです。
- ・動物と実際に触れ合えて、農場の技術職員の方が直接指導していただけるのが良いと思いました。
- ・家畜の管理を実際に行うことで農家の苦労を少しでも実感することができて良かった。
- ・とても楽しく有意義な時間を過ごすことができた。
- ・指示や気配りが細かくて非常に助かりました。ありがとうございました。
- ・つなぎや長靴を用意していただいたので、荷物が少なくてありがたかったです。

《カリキュラムの改善点》

- ・写真をもっと共有できればよかったです。でも授業中にカメラ禁止は作業に集中できてよかったですと思います。本当に楽しくて大満足でした。ありがとうございました。
- ・実習で行動時、2班合同になると時間がかかっていた。

《時間管理の改善点》

- ・スライド作成時間がもう少し欲しかったです。
- ・4日間の中で、実習が2日しかなかったのが残念だったけど、貴重な経験ができてよかった。

《交流の改善点》

- ・広大の3年生が多く仲が良さそうだったので、少し輪に入りづらかったです。

《食事の改善点》

- ・食事内容をもう少し改善してほしいと思った。(2名)
- ・ごはんをもう少し期待できるものにしてほしかったです。
- ・食事はもう少し良いものにした方が食の大切さなども同時に学びやすいと思った。
- ・実習費を上げて良いのももう少し食事をグレードアップした方がいいように思った。

《施設の改善点》

- ・部屋が広くてよかったが、たまに冷房が寒かった。

